

大阪府保育士会だより

平成20年8月1日

第79号

大阪府社会福祉協議会

保育部会・保育士会

大阪府中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9001

# ほほえみ

仲良く給食試食会



未入園児の体験教室



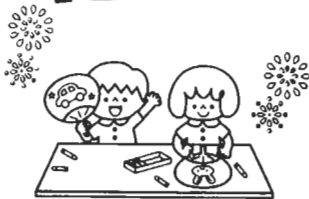
食会を取り入れ喜ばれてい

また、給食試食会を取り入れ喜ばれてい

永寿台保育園



## 地域とともに関わりあひ大切な



当園では年に数回、地域の未入園児の体験教室を行っています。

親子が一緒に遊んで、地域の未入園児の体験教室を行っています。

これからも、このつながりを大切に、地域の方と交流がもてる保育園に育てたいと思っています。

貝塚市



## 伝承あそびやエプロンシアター 親子向き合っ「おやこまつり」

今年から、親と子が触れあひ、向きあつて遊ぶ間(時間・空間)をもつこと、を目的に春と秋、「おやこまつり」を計画し、1回目を5月に開催しました。伝承あそび・木のおもちゃライブラリー・絵本のおはなし会・エプロンシアター

東大阪市 本庄保育園



みんなの保育園では月1回の園庭開放日と年4回の赤ちゃん教室を行なっています。園庭開放日には4、5か月の赤ちゃんも遊びに来られるので赤ちゃんコーナーを設けています。

園庭開放日は、「豆まき・水あそび・親子クッキング(白玉だんごづくり、たこ焼器で作るベビーカーステラ)・ティーパーティー」



### 子育て支援シリーズ②



### 相談時間7つぱりの赤ちゃん教室好評

の大きさ、アレルギーの相談の時間もゆったりとりました。お母さんは「プロが作られるのを見てとても参考になり良かったです」とほっとした表情をみせる方もおられました。

ひと遊びしたあと、「もつと遊びたい!!」となかなか帰らない子も時にはいます。おみやげをもらって満足そうに帰っていく子どもの顔、始める前とはちがつて表情がやわらかくなっているお母さんを見てみると、地域で果たす保育園の役割を改めて考えさせられます。私たちの活動がいかに社会貢献に役立つかということも感じます。

今後も保育園が地域の方の声を聞きながら、みなさんの居場所となり、ほっとしたり元気が出る取り組みを作っていきたいと思っています。



堺市  
みんなの保育園





# 近畿ブロック保育研究集会

～すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして～



20年度近畿ブロック保育研究集会が7月10・11日の両日、京都市のホテルグランドヴィア京都で開催された。

初めに行政報告があり、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐、杉原広高氏が「少子化対策及び子どもをめぐる状況について」、さらに「保育所保育指針の改定、大臣告示、施行」について述べられ、保育園の質を高める方向性



の様子の変化を細かく観察し、話をよく聴くことが一番だと考えられています。子どもに対しては、朝の健康観察の時に子どもの様子を確認し、退園時にも、園でできた傷がある場合は必ず保護者に伝えるよう対応されています。欠席が多くなっていないかも要注意。理由なく欠席が続いている場合は、保育士の方から家庭に連絡を入れ、園児の声を聞くようにされています。欠席が続いた後の登園日の朝は健康観察に特に注意し、

が必要と強調されました。引き続き各分科会で研究発表が行われ、第五分科会では、大阪府から、こどものいえの村井昌子氏が「児童虐待防止への取り組み」について報告されました。

親の育児不安、養育力の低下、また親同士の関わりが持てないなど子育てのうえの問題が山積みされている中で、虐待防止の取り組みとして、子どもや保護者



子育で通して自信を持ってもらえるような支援をすることが今後の課題と強調されました。

また、臨床心理士を配置、適宜相談しながら保育されている事例などもあげ、各方面からの取り組みの必要性を指摘されました。

最後に子どもの健やかな成長を守るためには、公的立場と民間の柔軟な対応を

## 子どもの変化を観察し話を聴くこと 関係機関と連携し共通認識

### 「児童虐待防止」

最近では性的虐待が増加しています。私たちには、子どものサインに気づく鋭い感性が必要であり、①力関係②頻度③強制力の有無④行動の4つの確認方法を提示されました。

事例に基づいてわかりやすく解説され、虐待防止への取り組みの重要性を実感させられました。

記念講演の後、京都市保育士会会長、大塚悦子氏のごあいさつがあり、研究集会は閉会しました。

外傷など虐待の疑いがある場合は速やかに各担当で調査をし、不審を感じた時は市の専門機関「子育て総合支援ネットワークセンター」に連絡、連携を取り、虐待防止につとめられています。

また、臨床心理士を配置、適宜相談しながら保育されている事例などもあげ、各方面からの取り組みの必要性を指摘されました。

2日目の記念講演では、作家の立松和平氏が「自然環境と子どもたち」をテーマに話されました。



作家の立松和平氏

おおさか  
食育フェスタ  
2008

日時 8月26日(火)  
10時～18時

大阪保育士会は午前の部(10時30分～11時45分)です。

場所  
そごう心斎橋本店14F  
そごう劇場・ギャラリィ  
皆様お誘い合わせの上、見に来て下さい。





# 保育士の学びのシリーズ ⑩

近大姫路大学

川原佐公氏



平成20年3月28日に「保育所保育指針」が改定告示されました。今回で3度目ですが、質的に大きな内容の改定は、平成2年の通達であったことを、皆様も強い印象と共に記憶されていることと思います。

昭和40年の6領域で示された保育者主導型の子どもの捉え方、発達の考え、保育方法が評価、反省され、変革されたのです。その改革の一番重要な課題が保育方法としての「環境による保育」でした。

「環境による保育」が打ち出され、考え方の切り替えと共に、一番に改革しなければならぬのが、保育における指導計画だったのです。ところが、「環境による保育」の基本的な考え方が理解され難い現場ではさまざまな混乱がおさま



## 保育の指導計画の「予想される活動」を再考する



た。指導計画をどのような様式に変えたら良いのだろうか、内容的にどう書けばいいのだろうか、試行錯誤しながら、いろいろな出版社から出されているモデルを参考にして書かれている実態がうかがえるのですが、混乱の度合いが具体的に表われているのが「予想される活動」の考え方の問題点です。各社のモデルも驚くほどばらばらであり一貫していないのです。それは、基盤となる「環境による保育」を十分理解したうえで、子どもの活動をどう考えるかという意識が統一されていないからなのではないでしょうか。多くの出版社から出されている「保育内容」系の本に書かれている「環境による保育」を比較検討したのですが、残念ながらその解決にも問題が多く出されました。



イントロが長くなりましたが、今回の改定にも「予想される活動」が出てきますので、このシリーズでは表題をテーマに書いていきますと思います。



### 子どもが発信する SOSに 目を傾けよう

保育士研修会で 森田ゆり氏



保育士研修会が5月15日に大阪社会福祉指導センターで行われ、エンパワーメント・センターを主宰されている森田ゆり氏が「内なる力と人権、虐待のない社会のために私たちのできること」というテーマに、日々の保育の中で子どもたちとのかわり方や気持ちの結びつきについて講義されました。虐待の被害者が「誰にも言えない」とひとり悩み、それがトラウマになる中で、保育士の私たちができること、聞きたいの？と共感し、

とは何かーヒントを得る研修会となりました。森田氏の講義の概要は、次の通りです。

「いたいのいたいのとんでいけ」と子どもの囁きに怪我をした私に元気を与えてくれたこのおまじないが、虐待のない社会へと導き、虐待で悩み苦しむ子どもたちを救い出せる一つの方法だとしたら：子どもが発信するSOSに気づいたとき、すぐに子どもの話に耳を傾け、聞きたいの？と共感し、

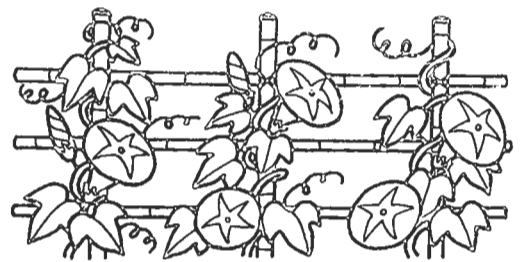
とんでいけ！と勇気つける。心に深い傷が刻まれる前に、この言葉は、問題解決へとつなげるパワーを秘めているようです。心の奥底にある声を聴きだし、心の応急手当をしてくれる大人を、子どもたちは身近な人に求めているのです。

「聴く」とはどんなことか。「聴く」とは、

耳に十四の心と考えた時、十四もの異なった気持ちを開きだし、どういう気持ち？聞きたいことは？何して欲しい？と感情のポリウムを下げることで、大人から子どもへの最大の贈り物であり、子どもの成長に関わる保育の役割のひとつなのです。

人権Ⅱ人が生きる力。安心して生きる権利、自分に自信をもって生きる権利、自分で生きていく権利、この重要な三つのポイントを考え、「自分で感じる」大切さを、子どもたちの明るい未来のために伝えていくことが必要だ。

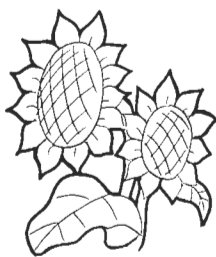
八尾市 こどものいえ



# 楽しい保育活動

## 小動物飼育に

### 命の大切さ学ぶ



# カブトムシやザリガニの赤ちゃんすくすく

ちがいます。

カブトムシは毎年夏の終りに産卵し、冬越えをして孵化して出てきます。7月始めから、もう30匹ほどかえりました。

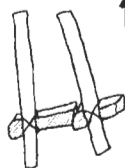
ザリガニの卵もかえり、沢山いる赤ちゃんザリガニがお母さんのおなかの中で揺られる姿はまるで抱っこされて、あやしてもらっている人間の赤ちゃんのようです。

子どもたちはそんな様子を見ながら「赤ちゃんかわ

7月1日にプール開きを行いました。水遊びが大好きな子どもたちは水しぶきをあげ、はしゃいでいます。当園では天気の良い日は幼児クラスも乳児クラスも毎日プール遊びをしています。プール遊びは子どもたちが気持ちを開放し、全身で水の感触を楽しむことで身体も心も鍛える機会だと思っています。



## 保育あんな工夫 こんな工夫



### 子どもたちは一生懸命

### 保護者といっしょに竹馬づくり



園で育てた野菜を使い蓬団子作り、焼き芋大会など自分たちで育て作った味は格別です。運動会では、保護者の方と一緒に作った竹馬に乗ることができ子どもたちの姿を見てもらおうと、一生懸命練習しています。他園の行事とそんなに違いはないと思いますが、「保



いいなあ」と興味を持って観察しています。このような小動物の飼育を通して体験的に命の大切さや自然の不思議さに気づき、感性豊かに育ってほしいと願っています。



ラムー保育園は、藤井寺市のほほ中心にあります。創立22年目を迎え、園児定員60人、職員21人の園です。園庭などのハード面では決してすばらしい環境とは言えませんが、ソフト面では大変良い環境だと自負しています。「心」が失われつつあるといわれる今、優しさ、厳しさ、たくましさ、そんな心を育てたいと、子ども一人ひとりを大切に、日々、保育に努めています。



その調子 その調子！

もも安定し、保護者からの信頼も得られるのだと思います。保育士は、体も頭も心も使い、これで良いということのない仕事です。だからこそ、やりがいがあり一生続けられるのだと思います。

藤井寺市  
ラムー保育園



## 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

「今年の暑さは特別だあー」と思うのは私だけでしょうか？水あそびをする子どもたちは楽しそう。いつも以上に事故のないよう笑顔での見守りが大切ですね。

まもなくオリンピックも開幕されます。選手の方々の活躍に期待を寄せるところです。

私たちも今年、保育所保育指針が改定され公示されました。来年の施行に向け、やがんばりしましょう。

エイ・エイ・オー！

